



2009 7/18(sat)~8/30(sun)

横浜人形の家では横浜開港150周年を記念した企画展を開催します。
第3弾は当館プロテューサー・北原照久の所有する膨大なコレクションの中から
1920年代から50年代にかけてアメリカの宝石店のショーウィンドウに
飾られた機械じかけで動く人形たちを展示します。

■モーションディスプレイ約60台を展示!

モーションディスプレイはアメリカの主に宝石店や眼鏡店のショーウィンドウを装飾する目的で作られ、街行く人々の目を楽しませていました。本企画展では、ロケットに乗って月へハネムーンに行くカップルや、人魚に恋するダイバー、不思議の国のアリスなど夢とユーモアたっぷりのモーションディスプレイ約60台を展示します。一定間隔で順次動き出す人形たちのユーモラスでアコースティックな動きを是非お楽しみください。



[HONEYMOON ROCKE T]

■貴重な製作風景写真も展示!

モーションディスプレイはアメリカ・カリフォルニア州の「ベリンジャー・スタジオ」で制作されました。当時の製作風景や実際に飾られていた様子などをパネルにて紹介します。

[JONAH & WHAL E]



[MERMAID D]

[HONEYMOON TROLLE Y]

※実際の展示物は画像と異なる場合がございます。

■モニターで動く様子を紹介します!

数々のモーションディスプレイの動きをモニターでご覧いただけます。

■パーツの数々や関連グッズも多数展示!

横浜の名所とモーションディスプレイと一緒に撮影したポスターや、これまでに作られた様々な商品アイテムなどを展示します。



[BAND W AGO N]



[TURTLE BU S]
横浜中華街

横浜開港150周年記念展

T. KITAHARA COLLECTION 「夢見る機械じかけの人形展」

- 期間 2009/7/18(土)~8/30(日)
- 場所 横浜人形の家 3F 企画展示室
横浜市中区山下町18 tel:045-671-9361
- 入館料 おとな 800円 こども 200円(小学生未満無料)
※常設展のみご覧の方はおとな500円 こども150円
- 営業時間 AM10:00~PM6:30(入館はPM6:00まで)
- 主催 横浜人形の家

裏面もご覧ください



横浜開港150周年記念



2009 7/18(sat)~9/6(sun)

横浜人形の家では横浜開港150周年を記念した企画展を開催します。
当館2階多目的室では横浜を中心に活躍する6人の作家が集まり
「横浜」「開港」をテーマにそれぞれが制作した作品を展示します。

■3メートル超の大型ジオラマが登場します!



1854年(嘉永7年)2月10日、ペリー提督は随員を従えて横浜に上陸しました。このペリー艦隊の随行画家ハイネの原画による石版画「ペリー提督横浜上陸の図」をモチーフにした巨大なジオラマ(900mm×3600mm)が登場します。

※ジオラマに使うフィギュアは約1万體!
展示期間中に「あなたの塗ったフィギュアも黒船の目撃者!」を開催、来館者にペイントしていただいて、ジオラマ内に展示します。(参加無料)
(土日を中心に開催)制作:津田潔志

■「おでかけぺりさん」横浜に行く!

カメラマンの渡邊氏が制作した粘土フィギュア「おでかけぺりさん」が開港150周年を迎えた横浜の各名所をバックに記念撮影した作品を展示します。

制作:渡邊和己



■開港当時の人力車を再現!

フィギュア原型師による木とアルミを使って再現した、開港当時の人力車(ミニチュア)や、車引きのおじさんとお客さんの御婦人のフィギュア作品を展示します。制作:新聞哲郎



■横浜の今・昔を映像で紹介!

現在の横浜・主要ポイントの景観と、記録写真や絵画に残る、いにしえの様子をオーバーラップさせ150年前から現在に至る横浜の変遷を映像で紹介します。制作:映像作家 宮本拓

横浜開港150周年記念展 「横浜開港・その時代展」

※入館券をお持ちの方はご覧いただけます

- 期間 2009/7/18(土)~9/6(日)
- 場所 横浜人形の家 2F 多目的室
横浜市中区山下町18 tel:045-671-9361
- 入館料 おとな 800円 こども 200円(小学生未満無料)
※常設展のみご覧の方はおとな500円 こども150円
- 営業時間 AM10:00~PM6:30(入館はPM6:00まで)
- 主催 横浜人形の家

【参加作家】

- 津田潔志(原型師)
- 田中 稔(人形造形師)
- 新聞哲郎(造形師)
- 宮本 拓(映像監督)
- 渡邊和己(カメラマン)
- 豊田 亘(メタルフィギュアペインター)